土質柱状断面図

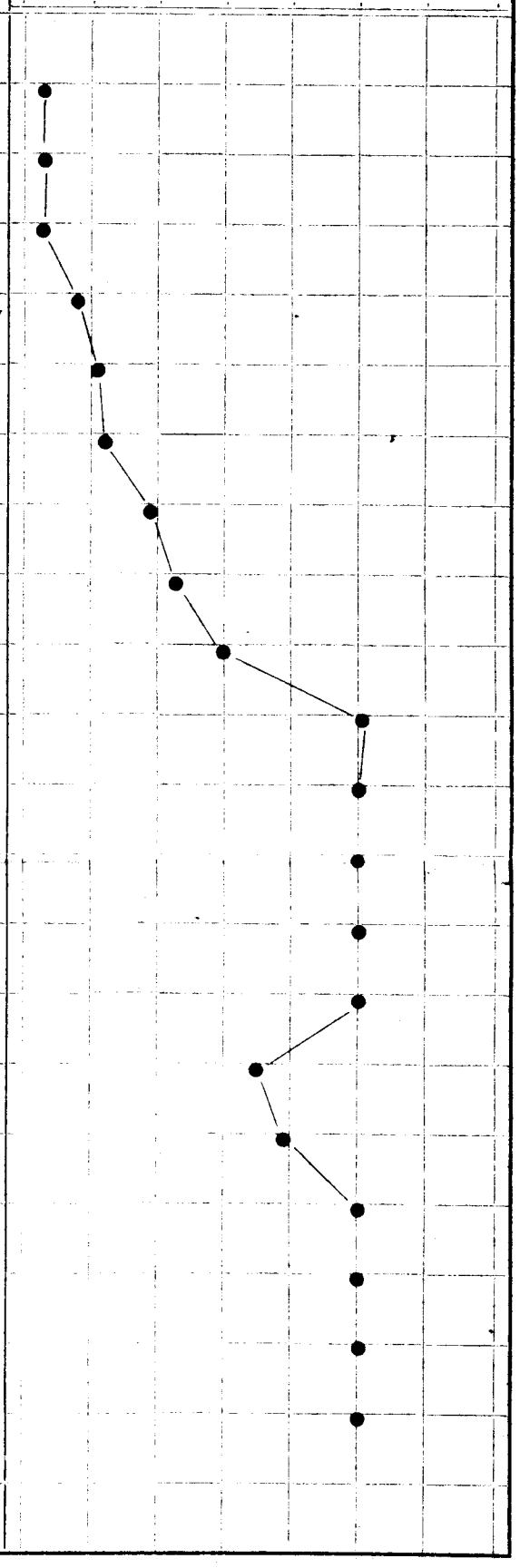
調査名 千葉市立(仮称)大宮中学校地質調査

調査地名	千葉市大宮町	堀進方法	ロータリー式
調査年月日	47年4月26日～47年4月27日	総堀進長	20.25m
施工者			
調査名番号	NO.1	使用機械名	OR-150型
現場主任技術者			

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	断面記号	層厚(m)	土質名	色調	相対密度又は相対調度	試料番号	観察	孔内水位及湧水個所(m)
		0.00								
		0.70		0.70	表土	黒褐色			腐植物 草根等混入	
1									浮石多量に混入 下部茶褐色を呈し粘性 沢水に強くなる	
2										
3		3.80		3.10	ローム	暗茶褐色	柔らかい			
4									乳白色の粘土を多量に混入し 粘性非常に強い	
5		5.10		1.30	粘土	黄褐色	中位			5.40 ▽
6									赤褐色と茶褐色の細砂が互層状に堆積している	
7										
8									全体に粘土分若干混入	
9		9.20		4.10	細砂	茶褐色	中位			
10									10.00m付近 白色の細砂線状に多く混入	
11										
12									所々固結細砂を挟む	
13									12.50m～13.40m間 暗黄灰色の中砂を挟む	
14		14.50		5.30	細砂	黄灰色	非常に密な			
15									白色の浮石が多量に混入し 全体に浮石の層を3～5cmの厚さで縞状に挟む	
16		16.35		1.85	中砂	黄灰色	密な			
17									黒灰色の細砂を互層状に混入	
18									浮石混り粗砂を多量に挟む	
19									19.00mより茶褐色の固結粘土をうすく混入	
20		20.25		3.90	細砂	暗黄灰色	非常に密な			
21										

標準貫入試験

測定深度(m)	打撃回数(回/cm)	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm	N値
1.00	3/30	1	1	1	2
1.30					
2.00	3/35	1/12	1/12	1/11	2
2.35					
3.00	3/34	1/14	1	1	2
3.34					
4.00	8/32	2	2/8	4/14	6
4.32					
5.00	11/30	4	3	4	7
5.30					
6.00	12/30	3	4	5	9
6.30					
7.00	19/30	5	6	8	14
7.30					
8.00	23/30	6	8	9	17
8.30					
9.00	30/30	8	8	14	22
9.30					
10.00	51/30	13	18	20	38
10.30					
11.00	50/25	14	22	14/5	36
11.25					
12.00	50/27	13	19	18/7	37
12.27					
13.00	50/25	19	21	10/5	31
13.25					
14.00	50/26	15	18	17/6	35
14.26					
15.00	35/30	10	12	13	25
15.30					
16.00	39/30	12	14	13	27
16.30					
17.00	50/20	22	28		50
17.20					
18.00	50/14	32	18/4		50
18.14					
19.00	50/28	13	17	20/8	37
19.28					
20.00	50/25	14	18	18/5	36
20.25					



土質柱状断面図

調査名 千葉市立(仮称)天宮中学校地質調査

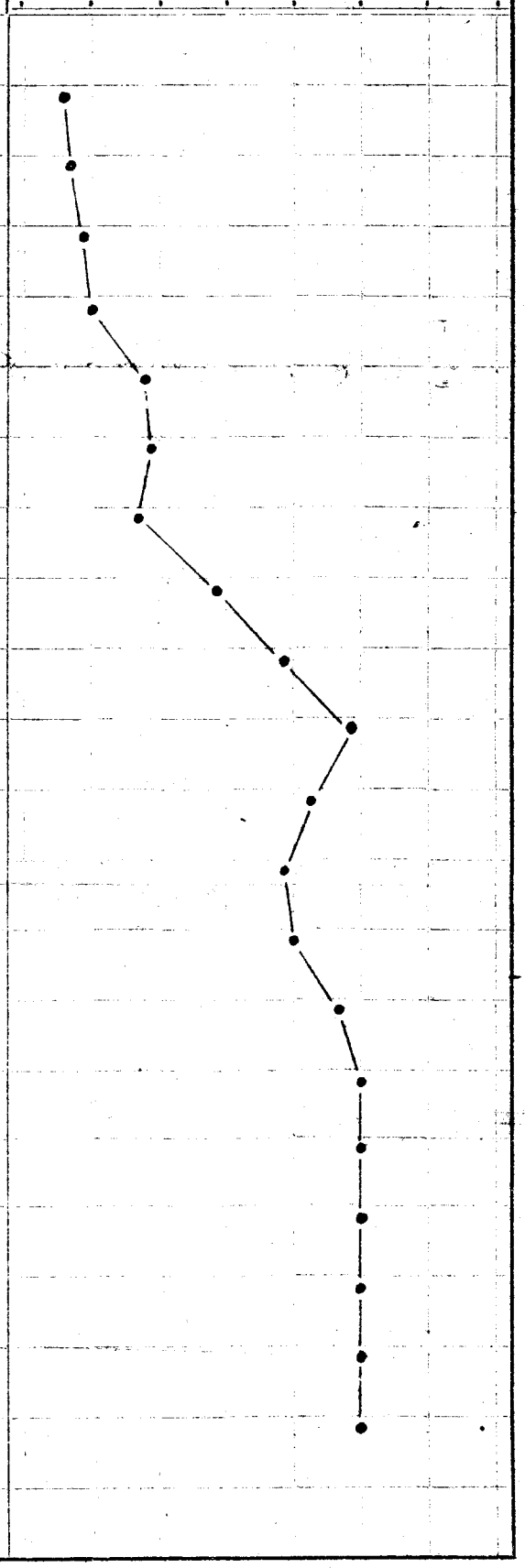
調査地名		堀進方法	ロータリー式
調査年月日	47年4月28日～47年5月1日	総堀進長	20.20 M
施工者			
調査名番号	No. 2	使用機械名	OR-150型
現場主任技術者			

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	断面記号	層厚(m)	土質名	色調	相対密度又は相対調度	試料番号	観察	孔内水位及(m)
		0.60		0.60	表土	黒褐色			腐蝕物質根等混入	
1									浮石多量に混入 下部粘性強くなる	
2		2.40		1.80	ローム	暗茶褐	中位			
3		3.30		0.90	粘土	黄褐色	堅い		乳白色の粘土を多量に混入	
4									赤褐色の細砂を多量に混入 白色と黄褐色の細砂互層状を呈す	4.90
5		5.10		1.80	砂混い粘土	黄褐色	堅い			
6		6.40		1.30	細砂	黒褐色	中位		5.50以下は黄褐色の細砂混入	
7		7.50		1.10	砂質粘土	茶褐色	非常に堅い		上部白色粘土を混入	
8									上部粘土分若干混入する 白色の細砂線状に縞模様を呈す	
9										
10										
11										
12		12.00		4.50	細砂	黄褐色	密な			
13							密な			
14									14.00付近赤褐色の細砂玉状に少量混入	
15										
16										
17									17.50～18.30間茶褐色の粘土を不規則に混入	
18										
19									浮石多量に混入する所あり	
20		20.20			細砂	黄灰色	非常に密な			
21										

標準貫入試験

測定深度(m)	打撃回数(回/cm)	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.00	6/30	2	2	2
1.30				
2.00	7/30	2	3	2
2.30				
3.00	9/30	3	3	3
3.30				
4.00	10/30	3	3	4
4.30				
5.00	18/30	6	6	6
5.30				
6.00	19/30	5	7	7
6.30				
7.00	17/30	6	6	5
7.30				
8.00	27/30	8	10	11
8.30				
9.00	39/30	11	13	15
9.30				
10.00	49/30	13	16	20
10.30				
11.00	47/30	11	15	16
11.30				
12.00	39/30	11	11	17
12.30				
13.00	40/30	11	16	13
13.30				
14.00	47/30	14	15	18
14.30				
15.00	50/21	18	32/11	
15.21				
16.00	50/26	16	22	12/6
16.26				
17.00	50/20	21	29	
17.20				
18.00	50/30	10	16	24
18.30				
19.00	50/27	13	16	21/7
19.27				
20.00	50/20	23	27	
20.20				

N値



ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立大宮中学校エレベータ設置土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

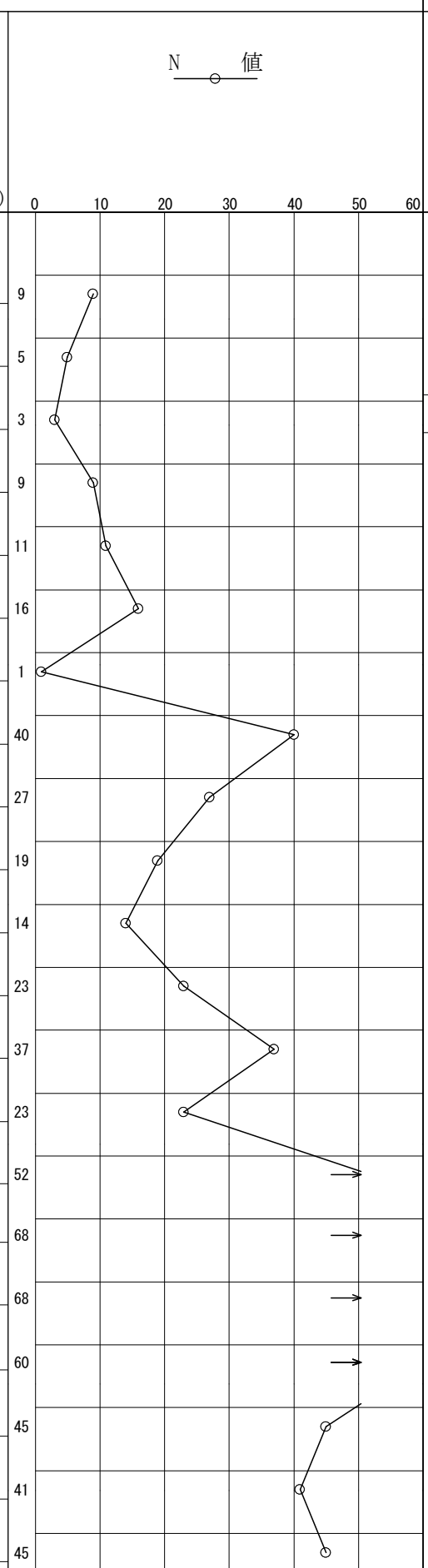
ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市若葉区大宮町2077番地							北緯	35° 35’ 12.035”
発注機関	千葉市役所			調査期間	平成 30年 8月 20日 ～ 30年 8月 23日					東経	140° 11’ 11.700”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	TP +36.42m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	KR-50	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	21.45m								エンジン	NS60	ポンプ	V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	35.52	0.90	0.90		埋土・ローム	暗褐			0.06m以浅アスファルト、0.06～0.25m砕石を主体。所々黒ボクを混入。粘性、含水中。砕石を混入。
1 2	33.52	2.00	2.90		ローム	黒褐～茶褐			1.1m以浅　黒ボク主体。 1m付近　稍固結状。 1.6m以浅　暗茶褐色。所々虫孔状を呈す。 斑点状の酸化鉄を混入。 粘性中。含水中。 下層部粘性強い。
3 4	31.92	1.60	4.50		凝灰質粘土	乳黄灰			糸根状及び斑点状に酸化鉄を混入。 粘性強。含水中。 4m付近　酸化し、赤褐色。 下層部　細砂を少量混入。
5	31.12	0.80	5.30		砂質粘土	淡黄灰			全体に細砂を多量混入。 枝状に酸化鉄を少量混入 粘性稍強。含水中。
6	29.62	1.50	6.80		細砂	暗黄褐			粒子不均一。含水中。 6m付近　酸化鉄を多量混入し、赤褐色を呈す。 6.4m付近　ブロック状にシルトを少量混入。
7	28.72	0.90	7.70		粘土質シルト	淡灰			粘性稍強。糸根状に酸化鉄を少量混入。粘性稍強。含水多量。 7.4m付近　細砂を少量混入。
8 9 10 11 12 13 14	21.42	7.30	15.00		細砂	暗黄灰			9m付近　薄層状にシルトを挟有し、褐黄灰色を呈す。 粒子不均一。含水少。 斑点状に酸化鉄を少量混入。 12m付近　薄層状にシルトを挟有。
15 16 17 18 19 20 21	14.97	6.45	21.45		細砂	暗黄褐			15m付近　薄層状に酸化鉄を挟有し、褐黄灰色を呈す。 粒子不均一。含水少。 17m付近　細粒状の浮石を挟有。 18m付近　酸化鉄を多量混入し、赤褐色を呈す。 19m付近　ブロック状にシルトを少量混入。 19.8～20m間　シルト挟有。 20m付近　φ2～6mmの亜角礫を少量混入し、薄層状にシルトを挟有。 20.3m以深　暗黄灰色を呈す。

孔内水位(m)／測定月日：8/20 3.10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	3	9/30	9
1.45 / 2.15	2/13	1/7	2	5/30	5
2.45 / 3.15	1	1	1	3/30	3
3.45 / 4.15	3	3	3	9/30	9
4.45 / 5.15	2	4	5	11/30	11
5.45 / 6.15	4	5	7	16/30	16
6.45 / 7.15	1/30			1/30	1
7.45 / 8.15	11	14	15	40/30	40
8.45 / 9.15	9	9	9	27/30	27
9.45 / 10.15	6	6	7	19/30	19
10.45 / 11.15	6	4	4	14/30	14
11.45 / 12.15	6	8	9	23/30	23
12.45 / 13.15	10	14	13	37/30	37
13.45 / 14.15	7	7	9	23/30	23
14.45 / 15.15	9	18	23/9	50/29	52
15.44 / 16.15	18	25	7/2	50/22	68
16.37 / 17.15	16	27	7/2	50/22	68
17.37 / 18.15	20	20	10/5	50/25	60
18.40 / 19.15	15	16	14	45/30	45
19.45 / 20.15	10	15	16	41/30	41
20.45 / 21.15	14	16	15	45/30	45
21.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
2.90	孔内水平載荷試験
3.50	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）
1.80	1-1D	Ⓓ	物理三軸圧密
2.60			
2.90	1-2D	Ⓓ	物理三軸圧密
3.70			
5.15	1-3P	Ⓟ	物理
5.30			
6.15	1-4P	Ⓟ	物理
6.45			
6.80	1-5D	Ⓓ	物理三軸圧密
7.60			
11.15	1-6P	Ⓟ	物理
11.45			
15.15	1-7P	Ⓟ	物理
15.44			

掘進月日：8/20　8/21

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立大宮中学校エレベータ設置土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

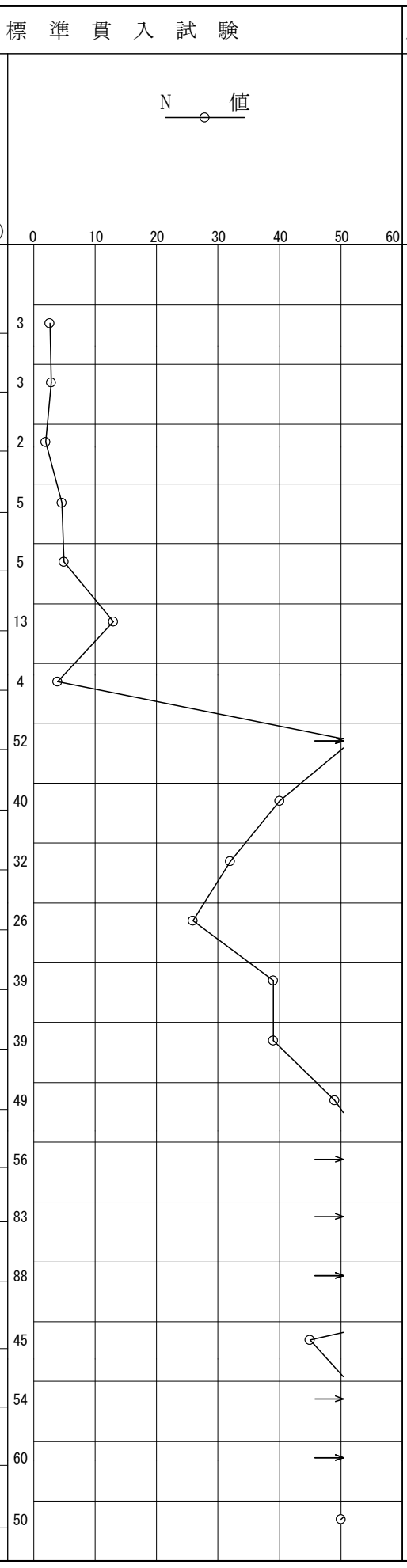
シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市若葉区大宮町2077番地							北緯	35° 35’ 11.392”
発注機関	千葉市役所			調査期間	平成 30年 8月 16日 ～ 30年 8月 18日					東経	140° 11’ 11.580”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者				ボーリング責任者	
孔口標高	TP +36.43m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平0°	使用機種	試錐機	KR-50	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	21.45m								エンジン	NS60	ポンプ	V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	35.63	0.80	0.80		埋土・ローム	暗褐			黒ボク及び粘土を不規則に混入。 コンクリート片混入。 粘性中。含水中。	
1 2	33.73	1.90	2.70		ローム	暗茶褐～茶褐			1m以浅　黒ボク主体。 粘性中。含水中。 所々虫孔状を呈す。 1.7m以浅　暗茶褐色。 下層部　粘性強い。	
3 4	31.83	1.90	4.60		凝灰質粘土	乳灰～乳黄灰			枝状の酸化鉄を少量混入。 粘性強。含水中。 浮石を点在。 4m付近　細砂を多量混入。 4m付近　酸化鉄を多量混入し、赤褐色を呈す。	8/16 3.08
5	31.03	0.80	5.40		砂質粘土	淡黄灰			全体に細砂を多量混入。 粘性稍強。含水中。 斑点状及び枝状に酸化鉄を混入。	
6	29.93	1.10	6.50		細砂	暗黄褐			層上部　粘土を多量混入。 粒子不均一。含水中。	
7	29.03	0.90	7.40		粘土質シルト	淡灰			部分的に緑青灰色を呈す。 層下部　微細砂を多量混入。 7.4m付近　φ2～5mmの亜角礫を少量混入。粘性強。含水多量。	
8 9 10 11 12 13 14	22.43	6.60	14.00		細砂	暗黄灰			粒子不均一。 含水少。 10m付近　所々薄層状にシルトを挟有。 11.2m付近　φ10mmの亜円礫を混入。 12.4m付近　薄層状に酸化鉄を挟有。	
15 16 17 18 19 20 21	14.98	7.45	21.45		細砂	暗黄褐			粒子稍均一～不均一。 含水少。 15m付近　薄層状に酸化鉄を多量混入し、赤褐色を呈す。 18.4m付近　ブロック状にシルトを少量混入し、酸化鉄を多量混入。 19m付近　薄層状にシルトを挟有。 20m付近　酸化鉄を多量混入し、部分的に固結状を呈す。 20m付近　φ2～4mmの亜円礫を混入。 21m以深　暗黄灰色を呈す。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/12	1/13	1/8	3/33	3
1.48 2.15	1	1/12	1/9	3/31	3
2.46 3.15	1/18	1/12		2/30	2
3.45 4.15	2	2/12	1	5/32	5
4.47 5.15	2/15	1/5	2	5/30	5
5.45 6.15	3	5	5	13/30	13
6.45 7.15	1/16	1/9	2/5	4/30	4
7.45 8.15	14	18	18/9	50/29	52
8.44 9.15	11	14	15	40/30	40
9.45 10.15	7	11	14	32/30	32
10.45 11.15	8	8	10	26/30	26
11.45 12.15	7	12	20	39/30	39
12.45 13.15	15	14	10	39/30	39
13.45 14.15	13	17	19	49/30	49
14.45 15.15	14	22	14/7	50/27	56
15.42 16.15	22	28/8		50/18	83
16.33 17.15	25	25/7		50/17	88
17.32 18.15	13	15	17	45/30	45
18.45 19.15	10	20	20/8	50/28	54
19.43 20.15	11	20	19/5	50/25	60
20.40 21.15	13	21	16	50/30	50
21.45					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				8/16
				8/17